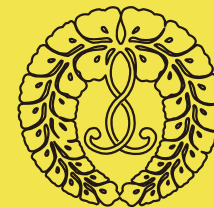




令和7年
～ HORINOUCHI ～

62



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-48-8
Tel: 03-3313-6241 Fax: 03-3313-5007

 <http://www.yakuyoke.or.jp>

 【やくよけ祖師 堀之内妙法寺】  ID:yakuyoke_myohoji

表紙 祖師堂欄間「迦陵頻伽」

(表紙は欄間左側の「迦陵頻伽」)

神社・寺院の欄間や向拝など多くの作品を手がけた房州の名匠初代 波の伊八こと、武志伊八郎信由(宝暦2年～文政7年・1752～1824) 20歳の時の作品。平成10年の祖師堂大改修の際に塗り直され、完成当時の姿で堂内を華やかに彩っています。

迦陵頻伽という名前は、サンスクリット語の(kalavinka)の音訳で、上半身が天女の姿をした美声の鳥で、浄土に住むといわれます。

妙法蓮華経「化城喻品第七」にも、「聖主天中天 迦陵頻伽声 哀愍衆生者 我等今敬礼」と登場しており、仏さまの声の尊さを迦陵頻伽の鳴き声に喩えています。

祖師堂にて通年欄間「迦陵頻伽」を公開しております。

宗歌

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華経を説かれた靈鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れも皆法華経の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華経に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穩で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗歌

日蓮聖人御詠

立ち渡る

身のうき雲もはれぬ

たえぬ御法みのりの鷲りゅうの山風



我此土安穩 天人常充滿 園林諸堂閣
種種宝莊嚴 宝樹多花果 衆生所遊樂

仏様の国土は安らかで穏やかであり、天人がいつも充ち満ちているのである。見事な草花や林に囲まれた遊園には、素晴らしい花や草木が満ちあふれ衆生が遊び戯れている。

「地球は青かった」旧ソ連の宇宙飛行士がガーリンが人類として始めて宇宙空間を旅した人となりました。今から六十年以上前のことです。それまで犬や猿など動物を乗せた人工衛星が人を乗せ、子供であった私達は夢と興奮に包まれたことを覚えています。この時、地球に送られて来たのが冒頭の言葉です。その八年後には、アメリカのアポロ十一号で人類は月にまで足を延ばし、飛行士が月面を歩く姿を、私達は映像で見ることが出来ました。

この頃から、私達が様々な知識で描いていた地球の姿を地上より遠く離れた所から送られた映像により、青く美しい地球の姿をはっきりと認識することが出来るようになりました。

日本人も宇宙飛行士の仲間入りし、地球を飛びたち、数々の研究が出来るようになりました。その中に、毛利衛さんが居られ、二度宇宙飛行を経験されています。厳しい訓練を受けられ、命の保障など無い宇宙へ旅立ち、遠い位置より地球を見つめ、その宇宙経験から生まれた考えを私達に語りかけております。

毛利さんが日本人の中で一番アピールしたのは、相手の身になって考える事ができる「思いやり」の心であり、これは日本人の持つ文化の一つであると言われています。宇宙空間で生死を共にする極限の環境に身を置いた際、宇宙でのミッションが成功するか否かは、この「思いやり」による人と人とのつながりにかかっているそうです。スペースシャトルや国際宇宙ステーションでは国の違う飛行士・研究者が共に生活し、そこで成果をあげるには、お互いにサポートしながら、能力を発揮して行く事が大切だそうです。

私達がいる此の地球では、多くの国々・様々な民族・宗教・思想を持った人々がおります。人々はお互いに穏やかで平和な暮らし・営みを望んでいるはずで

宇宙空間での研究・生活は人類のお手本とすべき縮図のように思えました。

地球を一周する時間は、僅か九十分だそうです。宇宙から日本を再確認すると共に、地球の小ささに思いが及んで、そんな小さな所で国同士が争うことはないのではと感じたようです。そして、宇宙が私たちに「世界はひとつ」更に「人類は地球の生命体として、宇宙に向かうためにはひとつでなくてはならないんだ」と思わせているような気持ちでしたと述べられています。

青く輝く美しい星を地球と知らずに人々が目にすれば、誰もがこの星で暮らしたいと思うに違いありません。しかし、地上に降りれば科学を日進月歩させ驚くほどの能力をもちながら、戦争・侵略・差別・飢餓など収め直すことが出来ずにいます。人類はそれらの行為をくり返し行い、今も歴史を刻み、誠に残念でなりません。

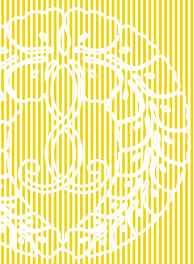
毛利さんは「科学は地球の意味をもコントロール出来ると錯覚させるところがある」と言われます。この地上で生きとし生けるもの、バランスにより保たれていると思います。それが崩れれば、「地球の意味」により淘汰されてゆくものです。人類の利便性の為に進めて来た、科学の発達は自然環境のバランスを崩し、大きな自然災害を各国で齎していると言われています。人類はこの「地球の意味」ともいえる現象を科学の力で

収める事は不可能であり、今までの行いを人類が少しでも改めてゆくしか方法がなさそうです。人類の能力・技術の粋を集めた、核開発・AIにしても平和利用を求めなければ、「地球の意味」により人類が自ら淘汰することになりかねません。

「衆生の心けがぬれば土もけがれ、心清ければ土も清しとて、浄土といひ穢土というも、土に二つの隔てなし、ただ我らが心の善悪によると見えたり。」（一生成仏抄）

日蓮聖人は浄土と穢土とは本来隔てはないが清い心を持てば浄土に成るとの事を示され、法華經を信仰する門下のものは、日夜朝暮に御題目を唱えるならば心は必ず、法性真如の明鏡のようになると言われました。その様な心かけを持つ者は、お互いに気遣いを思い会って生きて行く事が出来ると思います。

遙か彼方遠い宇宙から望む地球は青く輝く美しい星です。そして、地球を外から見れば空気も水もつながっているそうです。そこに住む総ての生きるものが、お互いに尊敬・感謝をして思いやりを持ちあうならば、真に美しい星・地球になると思います。



日蓮聖人の手紙（四十）

妙揚寺住職
立正大学名誉教授
東京立正短期大学名誉教授

北川 前肇
きたがわ ぜんちやう

「がもくいつかん ならびに驚目一貫、た竝つゝ、ひとつ 給ひ候いとつ給ひ候おわひ了んぬ。

や（矢）のはしる事ことは弓ゆみのらから、くものゆくことは、りう（龍）のらから、とこのしわざは女めのらからなり。

いま、ときどののこれへ御おんわたりある事、尼あまごぜんの御力おんちからなり。けぶりをみれば火ひをみる。あめ（雨）をみればりう（龍）をみる。とこを見れば女めをみる。

今いま、ときどのにけさん（見参）つかまつれば、尼あまごぜんをみたてまつるをとぼう。

ときどのの御物おんものがたり候は、このはわ（此母）のなげきのなかに、りんずう（臨終）のよくをはせしと、尼あまがよくあたり、かんびやうせし事のうれしさ。いつのよ（世）にわするべしとをばへずと、よろこばれ候なり」

訳

「ご供養として、銭一貫文（銭、一〇〇〇文）、清酒一筒、ありがたく頂戴いたしました。

世間のありさまを見ますと、矢が飛ぶのは、力強い弓のちからによるものです。雲が雨を含んで空をおおうのは、龍の力によるものです。男性が世に出て活動できるのは、それを支える女性のちからによるものです。

ただ今、夫いまとの富木常忍殿が下総国八幡庄（千葉県市川市）から、私の草庵である甲斐国身延山（山梨県身延）まで、御訪問されていることは、留守宅を守られる妻であるあなたの御支援のたまものです。空に煙が立ちのぼるさまを見ますと、煙のもとに火の燃えるさまが予想されます。雨の降るさまを見れば、そこに雨をつかさどる龍のはたらきを見るのです。そして、夫婦にあつては、夫を見れば、同時に妻の存在をみることになるのです。

ただいま、夫の富木殿に對面いたしますと、そこに御夫人の尼あまごぜんのお姿を拝しているように思われてなりません。

富木殿と對面して、亡き母上のことを語られる言葉に耳を傾けますと、母との死別はとても悲しいことです。が、しかし、母が安らかな死を迎えたこと、さらに妻が老母に對して十分な看病に心を尽くしてくれたことは、大変うれしいことだと語られています。そして、このことは、けっしてこの世のみならず、未来世までも忘れることではないことだと、感謝のことは述べられています」

（建治二（一二七六）年三月二十七日・『富木尼御前御書』・昭和定本一一四七―八頁）

解説

日蓮聖人みのぶが身延へ入山された三年目の建治二（一二七六）年三月、九十歳を越えて死去した実母の遺骨を首にかけて、はるばる下総国八幡庄（千葉県市川市）から聖人のもとへ訪問した熱心な信徒がありました。それは、聖人の立教開宗の聞もない頃から今日まで、変わるごとのない信頼を寄せていた富木常忍（一二一六―九九）でした。常忍は悲母との死別の悲しみを癒いやすすためと、悲母がたしかに靈山浄土へと旅立ったことを確信するために、聖人のもとを訪れたと思われます。その折、留守宅を守る妻の富木尼は、夫に金子と清酒一筒を托したのです。返書の冒頭には、富木尼の徳行を讃歎され、老母の看病に對する感謝を、夫に替わって述べられているのです。

（真蹟八紙（完）、中山法華経寺蔵）

日蓮宗の寺院は、全国に約五千ヶ寺あります。その中でも、特に縁の深い寺院のつながりを「法縁」と呼んでいます。ここでは、堀之内妙法寺を中心とする「堀之内法縁」に属する寺院を紹介していきます。

寶龍山 顯妙寺



住職 日野 教恵

顯妙寺は宮城県塩竈市に位置し、堀之内

法縁寺院の中では最北端である。塩竈市は、

陸奥国一之宮である鹽竈神社があること

で有名であるが、明治二十年に上野・塩釜

(塩竈)駅間が開通したことで開港場として

栄えた。

その中にある顯妙寺の歴史は浅い。第二

次世界大戦前、初代住職の兄(日野義二)の

近に防空壕を掘り、その中で曼荼羅と日蓮

聖人像を祀った。戦後、防空壕横に初代

住職の父(日野栄吉)が隣町からリヤカーで

資材を運び六畳二間の御宝前を建て、御題

目の太鼓を響かせた。しだいに参加者が増え

ていく中で、その僧侶より「この講中から出家

者をだしなさい」との勧めで、初代住職と

なる顯妙院日恵上人(日野義次・後の恵台)

が出家し顯妙教会を発足させた。漁港関係

のサラリーマンから四十歳で出家し、四十二

歳で荒行堂に入行した。

その息子である現住職は、中学校卒業と

同時に堀之内妙法寺に預けられた。今でも、

「口減らして預けられた」と言う一方で、



坂を登りきった高台にある境内



▲御宝前

「やくよけのおそっさまに救って戴いた」、師匠となる「小林日誓山主様に育てて戴いた」と大恩を感じている。妙法寺から戻る少し前、昭和五十年に初代住職の弟で大工の日野義春が、現在地に二十畳の本堂を完成させ、顕妙寺と名称を改めた。また、現住職の息子も「やくよけのおそっさま」のもとで過ごさせて戴き、嶋田日新山主様の弟子にも入れて戴いた。顕妙寺は、「やくよけのおそっさま」に救われ、妙法寺に育てて戴いたといっても過言ではない。そして約十五年前に寺の正干与をお引き受け戴き、

正式に法縁寺院の仲間に入
れて戴いた。

私が小さな時から一貫し
て言われてきたことは、「おそっ
さまがついているから大丈夫」
という言葉である。子供な
らに途轍とてつもない不安を感じ
た生活であったが、どんな状況にあっても、
不思議と何とかなってきたという現実が
その証明となろう。

東日本大震災の時も、「おそっさまがついて
いるから大丈夫」と思えたほどである。人間
は、物質として存在する以上、物理的な裕福



▲福徳稲荷大明神

寶 龍 山 顯 妙 寺

【所在地】

〒985-0072 宮城県塩竈市小松崎 4-21

電話：022-362-6914

【交 通】

●JR仙石線「本塩釜駅」よりタクシーで約5分

●三陸自動車道「利府中IC」より車で約10分

も必要かもしれないが、内面的な幸福は
信仰によってしか満たされない。今の一瞬に
幸福を感じなくとも、この冊子を手に取って
いるあなたも、いつか必ず「やくよけのおそっ
さま」の慈悲心を感じる時が来ることを
私は確信している。

内 堀 質問箱

その 27

「おみくじ」

「おみくじ」ってなに？

もとは国の祭事の際、重要な事項や後継者を決める時に神仏の意思を占う為に籤引きをしたことが起源といわれています。

また皆さんの中には、おみくじ＝神社というイメージをお持ちの方もおられるかもしれませんが、現在私たちが使うおみくじは、その昔仏

教經典の御文(偈頌)を書いた紙の束から一枚引いてその内容から進むべき道を占ったものが原型だといわれています(諸説あり)。

どんなことが書いてあるの？

妙法寺のおみくじには上段に宗祖日蓮聖人のお言葉(遺文)の一節を載せ、下段に日常生活において気を付けるべき内容が書いてあります。

吉凶の種類は？

寺社仏閣によってその種類は様々ですが妙法寺のおみくじは左記の種類に分けられています。

大吉

良いことがあっても油断は禁物。驕(おご)らず周りの人に迷惑をかけることはないように。

小吉

まだまだ上昇の相あり。

吉

安穩なれど大吉にも凶にもなれる相なり。

半吉

吉より慎重に。

末吉

芽が出ない時期。忍辱。

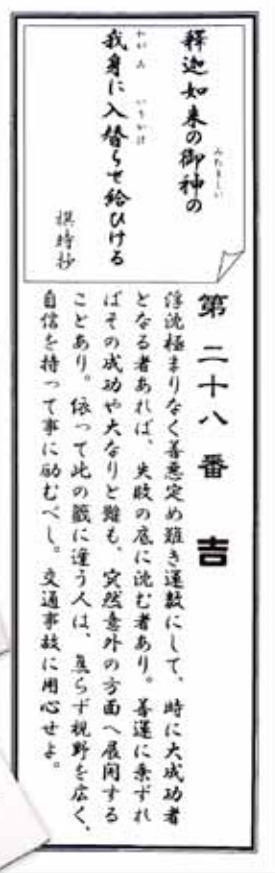
凶

自分主体の行動は控えるが良い。他人の為に生活すべし。

凶が出たらどうすればいいの？

先述の通りおみくじというのは今の自分自身を映すものです。

凶が出てもそれ自体が悪いことではなく、むしろ自身を見つめ直すきっかけとして受け止めることが重要です。



Q おみくじを引いた後は
どうすればいいの？

多くの寺社仏閣では、その場で木や専用の場所に結ぶことをお勧めしています。妙法寺でも文字として現れたあなたの厄を境内に結んで厄落としをするのも良いでしょう。

また、心に思うところがあればお祖師様の御前にてよくよけ祈願をお受けになられることをお勧めします。

祖師堂おみくじ小噺



時は明治、松村日澄山主のころ、祖師堂の屋根を瓦から銅板に葺き替えた時の逸話を一節ご紹介します。

当時、「古くなった祖師堂の屋根の葺き替えをやろう」と話になったので、早速役員さんを集めて屋根替えの会議を行った。

その頃の祖師堂の屋根は瓦葺だったので当然葺き替えも新しい瓦のものを検討していたようだが、檀家の一人が「瓦でやれば、いつか早晩はこんな相談をしなければならん時が来るのだから、いっそ、銅板でやってしまったらどうだろう」と言い出した。銅板葺きといえは瓦葺きよりも長持ちこそするがその分予算も膨らんでしまう。ということ協議は



▲山門をくぐった右前方にある「おみくじむすび所」

賛否がわかれたという。

そこで当時の執事長が「銅板葺きが良いか悪いか、それはお祖師様の氣に入るか入らないかということだから、どうだろう、一つおみくじを引いてみて「吉」だったら銅板葺きが良いという思し召しで「凶」だったら悪いという思し召しだとしたら？」という提案をした。「それは良い案だ！」と一同は祖師堂に上り謹んで法味を献げておみくじを引いたところ「吉」が出た。檀信徒たちはもう仕事成就したかのように一度に「万歳」を唱えたという…。

今までにあつたものを全く新しいものに変える試みは大変なご苦労があつたことでしょう。いかに当時の人たちが、賛否が分かれても最後にはお祖師様の一存に身をゆだねておられたかは、この逸話を讀んだだけでもその信仰の厚さを強く感じることができます。皆様も、もしなにか決めきれない問題に直面されたときには「ほりのうちのお祖師様」をお参りして、おみくじを振って自分の心の支えのひとつにしてください。

きつと進むべき方向をご指南くださいます。



▲祖師堂は、今も昔も時代を超えて美しい景色をつむいでくれています。

完

祖師堂おみくじ小噺

おみくじ

お祖師様と私

このコーナーでは、当山とゆかりのある方々をご紹介します。

第四十回

株式会社

しんせん 社長

おがさわら けんえつ
小笠原 健悦 さん



私は、日本の最北端北海道稚内市で生まれ、漁師のせがれとして育ちました。高校卒業後、稚内市で塗装工として働き、

平成二年（一九九〇）に東京杉並区堀ノ内の住人となりました。その時に、初めて見た妙法寺は「こんな壮大なお寺が近くにあるなんて」と、神社仏閣仏像が大好きな私は心が躍りました。縁日を歩くのもその時が初めての経験でした。

平成七年（一九九五）に、現在の「株）しんせん」（塗装と防水の会社）を立ち上げました。その年は、阪神淡路

大震災や地下鉄サリン事件があつた年で、九星氣学では、五黄土星の年で、私は本厄にあたる年でした。そのため、どん底からのスタートで困難の連続の日々でした。この時に妙法寺で厄除けをして頂いていたら、もう少し楽なスタートだったかもしれません。

平成二十年（二〇〇八）より、妙法寺と商店会で始めた「妙法寺夏のふれあい祭り」から、地元の方々に助けられ、私含め「株）しんせん」も微力ながら地域に貢献できるようになり、継続しながら地域に成長させて頂いたと念っております。

現在は、「妙法寺夏のふれあい祭り」と「千日紅祭」と年に二回、お祭りの実行委員長も務めさせて頂いております。また、御寺の境内や仁王門の前で、しんせんバンドの演奏までさせて頂いております。さらに、本業である塗装工事の仕事まで頂き、妙法寺のお祖師様に繋いで頂いたご縁に感謝しかありません。これからもお祖師様のもと地域に貢献できるよう励みたいと思います。



かわら版

◎当山の行事やご祈願などをご案内するコーナーです。

記事についてのお問い合わせは、
お気軽に寺務所まで。

（電話）〇三・三三三・六二四一

社会情勢により行事内容が変更
または中止になる場合がございます。

くわしくはホームページをあわせてご覧下さい。

◎法華千部会のご案内

本年も五月十日（土）～五月十三日（火）の
期間、法華千部会を厳修致します。

法華千部会は、江戸時代より二百年を越え
て行われている伝統行事の一つです。

法華経は壱部読むだけでも大変功德があ
るため、千部会の賛助者（千部施主）となる
功德・ご利益は計りしれません。皆さまも
千部施主の一人となり、その大きな功德を
いただき、除厄安全・身体健全・心願成就
などをお祈り致しますよう。

法華千部会の日程

■五月十日（土）

お経揃い……………十九時より
提灯行列……………十九時より

■五月十一日（日）～十三日（火）

お経……………十時・十三時半
法話……………十二時より

●千部施主 一名 五千元也

（お開帳・お経頂戴・お食事含む）

■五月十一日（日）

天童稚児音楽大法要…十三時半

●天童稚児 参加費無料

（貸衣装・記念写真含む）

※詳細は、別紙の申込書をご覧ください。



▲祖師堂に集まった大勢の僧侶による「お千部」の様子▶



▲天童稚児
音楽大法要の
お稚児さん



◀昨年の日朝上人
大祭の様子

◎日朝上人大祭

「眼病守護の日朝さま」「学
業成就の日朝さま」とあがめ
られている行学院日朝上人に、
眼病平癒・学業成就をお祈り
する大祭を営みます。

■（日時）六月二十五日（水）…十三時より
■（場所）日朝堂



新盆会

四十九日の忌明け後、初めて迎えるお盆を新盆または初盆といい、特に丁寧な供養を営みます。当山では、新盆を迎えたお檀家様の各霊位を供養する法要を営みます。

〔日時〕 七月十三日(日) ……十三時より
〔場所〕 本堂

※各家には、ご案内・申込書をお送りします。



▶ 昨年の新盆会法要

▶ 孟蘭盆施餓鬼会の様子



釈迦様に教えられたとおり、修行僧たちをもてなして供養を施し、その功德で母親を餓鬼界の苦しみから救うことができました。お釈迦様が説かれたのは、身内や自らが仏に成ることが目的ではなく、他人を導き救うこそが自身の父母・先祖を救うことに繋がってゆくというものです。

「孟蘭盆施餓鬼会」は、先祖の霊と共に有縁無縁の霊、法界万霊を供養し、全ての生きとし生けるものに感謝する法要です。

〔日時〕 七月十六日(水) ……十一時より
〔場所〕 本堂

孟蘭盆施餓鬼会

「孟蘭盆」は、目連尊者が母親を餓鬼界から救う話が由来となっています。目連尊者は、お

土用の丑ほろく特別祈願

▼ほろく特別祈願の様子



夏の「土用の丑の日」に行われる行事です。頭痛は悪鬼の障りによって起こると信じられていた時代から、その障りを取り除くために始められたものです。

〔日時〕 七月十九日(土)・七月三十一日(木)

…九時～十六時(随時受付)

〔場所〕 祖師堂

祈願料 一名 三千円より

千日紅繋和会

妙法寺では境内を開放し、千日紅繋和会主催のイベントが行われます。千日紅を通して、ふれあうことの大切さや、おもてなしの心を育み、子どもから大人までお楽しみ頂いております。



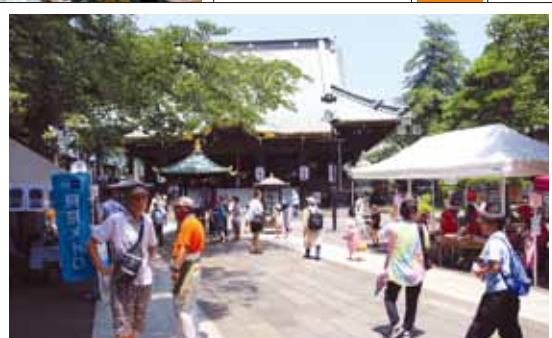
▶ 昨年のイベントの様子

〔日時〕 千日紅花祭り ……六月二十九日(日)

〔場所〕 千日紅奉納祭 ……十月十九日(日)

右記の
お問い合わせ

千日紅繋和会(清水屋) まで
電話 03・33311・0725



「日本のことを 自分事に」



令和六年度は生徒数増加に伴い教室を増築してのスタートとなりました。本校が取り組んでいる教育活動が評価された結果であろうと大変嬉しく思っております。ご支援ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。



私たちは今年一年間のその時々においても、教育理念「生命の尊重、慈悲・平和」に立ち返ってきました。中学生は探究活動の一環として「杉並区への提言」という学びに挑戦しました。自分たちの生活空間をよりよくするために、何を課題とし、それをどのように実現することが出来るのかを問うのです。区的环境課の方々にもご参加いただき、生徒たちは学びを深めることが出来ました。令和六年一月一日に能登半島沖地震が発生しましたが、その後ご縁があり能登の輪島高校と交流することが出来るようになりました。そして、如何に復興が進んでいないかという事実を知ることとなったのです。報道されなければ私たちは何も分かっていないという残念な現実と無力さを知らされたのです。輪島高校の生徒たちは、水を手





に入れる苦労や友だちの存在の大きさについても語ってくれました。本校生徒たちはこの現状について、夏に開催した「第三回 政治家との公開ディスカッション」で、データを使いプレゼンし、時間をかけて問い続けました。九月になると能登は豪雨に襲われ、更に厳しい状況に追い込まれたという話も聞かせていただきました。「日本の事を自分事に」として取り組み初めて二年が経ちました。北海道・沖縄県・福島県・石川県そして地元地域とつながっていますが、中学生高校生にできることをしていくしかないのです。まずは関心を持ち「知る」ことです。そして寄り添っ



東京立正中学高等学校

校長 梅沢 辰也

ていく中で、何ができるのかを問い、行動に繋げる。「生命の尊重、慈悲・平和」を掲げる本校だからこそ、そういうことができる人となって欲しいと心から願っています。活動は更に広め、深めていくつもりでありますので、今後ともご後援宜しくお願いいたします。

OPEN CAMPUS

予約制

オープンキャンパス

< 時間 >

10:30~12:00(午前の部)

14:00~15:30(午後の部)

◇の日は模擬授業つき。

10:30~13:00

☆は留学生対象の日です。

10:30~12:00

—2025年(R7)—

4月19日(土)

5月11日(日)

5月25日(日)

5月31日(土)◇

6月 7日(土)

6月22日(日)

7月12日(土)★

7月20日(日)★

7月27日(日)★

8月17日(日)★

8月24日(日)★

8月31日(日)

9月13日(土)

9月23日(火)◇

10月 4日(土)

10月26日(日)

11月22日(土)

12月13日(土)

—2026年(R8)—

1月24日(土)

2月 7日(土)

2月21日(土)◇

3月20日(金)

ミニ講座つきオープンキャンパスで
得する情報を手に入れよう!



現代コミュニケーション学科 (共学)

現代コミュニケーション専攻

幼児教育専攻

ビジネスコース/心理コース/観光コース

東京立正短期大学
Tokyo Rissho Junior College

〒166-0013 杉並区堀ノ内 2-41-15

TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641

URL <http://www.tokyorissho.ac.jp/>



完全中高一貫プログラムのグランドデザインで
国際社会での活躍を目指した
真のグローバルリーダーを育てています。

まずは、学校説明会・ホームページへ。

2026年度入学者対象 学校説明会日程

中 学 校		高 等 学 校	
令和7年	4月 1日(火) — 10:00	令和7年	7月 5日(土) — 14:30
	6月 4日(水) — 10:00		7月26日(土) — 10:00
	7月 5日(土) — 10:00		8月30日(土) — 10:00
	8月 2日(土) — 10:00		9月13日(土) — 14:30
	9月 6日(土) — 14:00		9月28日(日) — 10:00★
	9月27日(土) — 13:00★		10月11日(土) — 14:30
	10月25日(土) — 10:00		10月25日(土) — 14:30
	11月 8日(土) — 10:00		11月 8日(土) — 14:30●
	11月26日(水) — 18:00		11月22日(土) — 14:30
	12月13日(土) — 14:30		11月29日(土) — 14:00
令和8年	1月10日(土) — 14:30		12月 6日(土) — 14:00

※●は見学会。★は紫苑祭(学園祭)を予定しています。

いずれも、会場は本校です。上記日程は変更になる場合がありますので、必ず最新の日程をホームページで事前確認の上、お越し下さい。



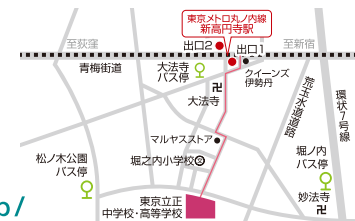
学校法人 堀之内学園

東京立正 中学校
高等学校

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15

TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620

URL <http://www.tokyorissho.ed.jp/>



編集後記

コロナ禍が明けて少しの時間が過ぎました。

世界中の人々が日常生活を取り戻し、コロナ禍前の生活に戻りつつあります。マスクを付けている人の数もみるみる内に減少し、ほとんどの方々がマスクをしないで生活を送っていると思います。しかし、今でもマスクを外すことに対する不安や抵抗感を感じる人々も少なくありません。

マスクが取れても各々で手洗い、消毒、うがい等の衛生管理が継続していることは大変良い事だと思えます。

コロナ禍では、お墓参りにお見えになるお檀家様の中には、何方か分からない位、マスクに帽子を被りサングラスという方もいらつしやいましたが、現在では顔の表情が見えることでお互い感情もわかり、コミュニケーションが前よりも豊かになりました。

コロナ禍では殆どのお檀家様はお墓参りを控えていましたが、久々にお参りにいらつしやるお檀家様にお会い出来ると、「お元氣そうで良かった」とお互い笑いながらお話し出来る事は、当たり前ではなく、改めて有り難い事だと思っております。

教豊記

教誌編集委員

委員長	雄教
委員	田田
	嶋山
	宇都宮
	山井
	新井
	望月
	石川
	望月
	加門
	龍正

はりね

第62号・令和7年 4月発行

仏壇・仏具・位牌
みす平は創業300有余年の神・仏具の専門店
 オーダーメイドでの仏壇製作から、古くなった仏壇・仏像・位牌などの修理、修復も承ります。

良品安値!

みす平は10年後、20年後の信用を大切にします。

神・仏具のみす平
 株式会社みす平飛天堂
 ☎ 042-334-9981 FAX 042-334-9982
 〒183-0045 東京都府中市美好町1丁目30番地の13
<http://www.misuhei.co.jp>

墓石・記念碑門塀
 諸石材工事
 有限会社 中島正石材
 〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内2-13-1
 TEL 03-3311-8846
 FAX 03-3311-8822
 (代)

清水屋
 御菓子司
 〒166-0013 杉並区堀ノ内 3-48-3 ☎ 03-3311-0725
 【営業時間】和菓子 ◆ 10:00~17:00
 手打ち蕎麦 ◆ 11:00~14:30
 ※蕎麦がなくなり次第終了
 【定休日】 ◆ 火・水曜
 ※三のつく日は、和菓子・お蕎麦共に営業致します。(振替休日有)

ご葬儀をご想儀へ

ムラカミの安心と信頼が
 皆様の想いを
 サポートいたします。

ご家族葬から
 社葬・団体葬までご対応。
 1級葬祭ディレクターが
 責任を持って担当いたします。

365日24時間 自社所有の
 寝台車による速やかなお迎え。
 霊安室も完備しております。

AAA 葬祭業安心度調査
 AAA評価

JECIA格付
 ★★★★★認定

村上葬祭
 株式会社ムラカミ
 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-28-2
<http://www.murakami-sousai.co.jp>
 ご葬儀・ご法要をはじめ、ご不明な点について、
 無料でご相談にお応えいたします。
 24時間・365日ご対応 ☎ 0120-711-556